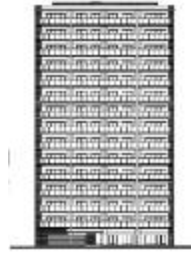


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ユニハイム豊中市豊南町西	階数	地上15F
建設地	大阪府豊中市豊南町西2丁目27,31	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	232 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年7月20日
敷地面積	1,851 m ²	作成者	定森 淳一
建築面積	360 m ²	確認日	2018年7月20日
延床面積	4,100 m ²	確認者	後藤 輝行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184)

②建築物の取組み 65% (119)

③上記+②以外の 65% (119)

④上記+ 65% (119)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
ライフサイクルCO ₂ 排出量を65%に抑制し、地球温暖化対策に配慮。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
専用部の音環境・光環境の向上に努め、室内環境に配慮。	各戸に光配線の引込み、清掃性の良い内装材を使用し、サービス性能に配慮。	条例に基づき、低木及び中高木の緑地を計画し、敷地内環境に配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明・専用部は複層ガラスを使用し、省エネルギー性能に配慮。	節水型機器の採用で水資源の保護に配慮。	ライフサイクルCO ₂ 排出量を65%に抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0069

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ユニハイム豊中市豊南町西 計画						
	建設地	大阪府豊中市豊南町西2丁目27,31-15、31-17						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし	